

新築住宅内覧会 Vol. 25



場所：金沢市山科1丁目地内

5/25 SAT 26 SUN
10:00~18:00

「小さく住む事」については、
もっとたくさん語られてもいいと思う。



※会場周辺での矢印看板を廃止いたしました。
富樫小学校を目印にお越しくださいませ。

詳しくはHPをご覧ください
www.zuiun.jp

家具から始まる家づくり
zuiun建築設計事務所

手ざわり、足ざわり。

ZUIUN便り Vol. 26

春があつという間に過ぎて、いつの間にか桜の木もまぶしい新緑に変わってしまいました。日を追うごとに気温は上がり、雨の日が増えて、もうすぐ梅雨がやってくる、そんな気配を感じております。

雨の日が多くなると屋内で過ごす時間も多くなるのではないのでしょうか。

今回は家の中で常に触れている部分「床」の素材について書いてみようと思います。

室内の快適性を左右する要素の1つに感触があり、床材の手触り、足触りが重要なポイントになります。特に、靴を脱いで室内に上がる日本では、素足で床の上を歩くことも少なくないからです。

また、直接床に座ったり寝転んだりすることもあります。こうしてみると、自然の味わいが感じられる無垢フローリングや、柔らかさ、温かさのあるカーペットに人気が集まっているのも当然といえます。

もうひとつ忘れてならないのは、気候に考慮した床材を選ぶということ。夏と冬で気候ががらりと変わる日本では、夏は汗や湿気を吸い、冬は温かみを感じさせる床材が求められます。最近、畳が見直されているのも、日本の気候に適した吸湿性や保温性があり、肌心地よいためといえます。



無垢のフローリング、タイルの床、奥には畳の部屋がある。

では、床材の種類にはどのようなものがあり、どのように使い分けてればよいのでしょうか。

例えば生活の主となるリビング空間では、木の温かみを感じられるもの、家具との調和がとれるもの、そして掃除のしやすい丈夫なもの、が考えられます。

そういったご要望であれば、zuiunで扱っている家具にも多く使われている丈夫な広葉樹の“オーク材”や“チーク材”“ウォールナット材”などがおすすめです、もちろん他にも沢山の樹種がありますので、家具との調和や、好みの色味を選ばれるのが良いと思います。

無垢材は住まわれる人と時間をともにして、だんだんと深い風合いとなります。味わいを楽しめる床材とも言えるでしょう。

キッチンや洗面所のように、水に濡れやすく、油などの汚れが付きやすい場所では、水性や汚れの落としやすさが求められます。

そういった箇所には塩化ビニル樹脂（塩ビ）の床材を使うことが多いのですが、それは、塩ビ系のもものは耐水性が抜群で、油汚れに強く汚れを落としやすいため、キッチンや洗面など水廻りに適しています。

また、発泡層により適度な弾力性があるため、歩きやすいという利点もあります。

柔らかい素材の為、長期間にわたり物を置いてみると凹み跡が残ってしまうのが難点とも言えます。

他にも高温で焼いた磁器質タイルは吸水性も非常に低いのが特徴なので、水や汚れに強く、色やデザインも豊富です。ただ肌ざわりが冷たく硬いのが難点としてあげられます。

ただし、薪ストーブなどを置くスペースであれば別です。薪ストーブから発せられる高温にも耐えられる素材として、石、コンクリート、タイルといったものをお勧めしています。

小さいお子さんや高齢者がいる家庭では、安全性の配慮も忘れてはなりません。

畳の和室、またはリビングの一角に畳コーナー、もしくはカーペット敷きのスペースを設けるのも良いでしょう。畳やカーペット自体に程よいクッション性があるため直に座ったり、寝転がったりしても痛くありません。また、吸音性にも優れているので2階で使用するると効果的な場合もあります。

簡単に“床材”の説明をいたしました、まだまだ沢山の種類や商品があります、求める性能、インテリア性など適材適所で使い分けは最適な住まいづくりを足下から楽しんでみてはいかがでしょうか。